

2021年11月8日

各 位

&lt;不動産投資信託証券発行者名&gt;

ジャパンリアルエステイト投資法人  
代表者名 執行役員 柳澤 裕  
(コード番号 8952)

&lt;資産運用会社名&gt;

ジャパンリアルエステイトアセットマネジメント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 梅田 直樹  
問合せ先 執行役員企画部長 元岡 将  
TEL.03-3211-7951

## RE100 対応の再生可能エネルギーの導入推進に関するお知らせ

当投資法人では、保有ビルの電力を RE100 対応 (※1) の再生可能エネルギー由来 (以下、再エネ電力) に随時切り替えを進めており、当投資法人の 100%所有物件 (※2) において、2022 年 4 月までに 80%超、同年 9 月までにすべての切り替えを完了させる方針を固めましたのでお知らせします。

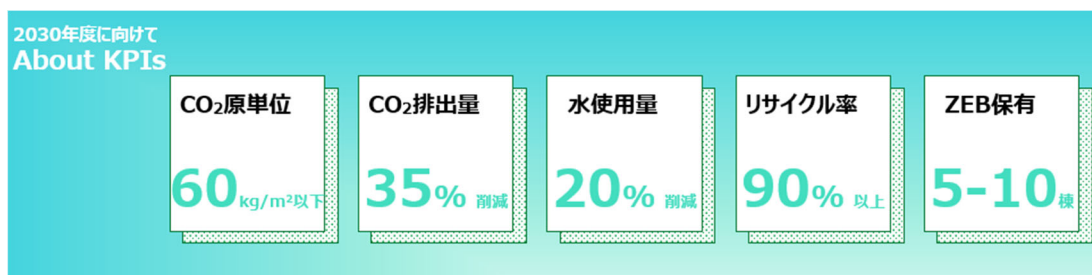
- (※1) 企業が事業で使用する電気を 100%再生可能エネルギーとすることにコミットする協働イニシアチブ。
- (※2) 当投資法人が所有権を 100%有しているビルを指します (2021 年 11 月 8 日時点 : 41 棟)。当投資法人のみで意思決定が完結しないビルについては対象から除外しておりますが区分所有、共有ビル等においても、今後積極的に再エネ電力の導入を進めてまいります。

記

### 再エネ電力の導入推進について

#### (1) 再エネ電力の導入推進の背景

当投資法人では国連の定める SDGs (Sustainable Development Goals) に賛同し、また世界的に高まる気候変動リスクへの対応を進めるため、2030 年に向けた CO<sub>2</sub> 削減目標を主要指標 (KPI) の 1 つとして 2020 年 5 月に発表しております。



上記 CO<sub>2</sub> に関する KPI 達成に向けて、再エネ電力の導入に加えてリノベーションや ZEB (Zero Energy Building の略) 保有等を取り進めています。

## (2) 再エネ電力の概要

今回導入を推進している RE100 対応の再エネ電力は、ビル使用電力の全量であるため、CO<sub>2</sub> 排出はテナント使用分も含めてゼロになります。そのため、全てのテナントが再エネ電力を利用していると認められます。

再エネ電力への切り替え (イメージ)



## (3) 再エネ電力の導入に伴う CO<sub>2</sub> 排出量へのインパクト

今回の 100%所有物件における再エネ電力の導入によって、年間の CO<sub>2</sub> 排出量としては約 5 万トンの削減が見込まれます。この削減量は 2020 年度の実績ベースでは当投資法人の CO<sub>2</sub> 排出量のおおよそ半分を占めます。

これにより、2030 年度 CO<sub>2</sub> 排出量削減目標を大きく前倒しで達成する予定です。また、その他の区分所有、共有ビル等においても、再エネ電力の導入を進めており、これにより CO<sub>2</sub> 排出量の削減が加速します。2030 年度に向けた新たな CO<sub>2</sub> 排出量削減目標については今後検討のうえ発表します。

			2013年度 (基準年)	2020年度 (実績)	2020年度 (※)	2030年度 (KPI)
CO <sub>2</sub> 排出量	総量	t-CO <sub>2</sub>	105,386	93,296	49,546	-
	原単位	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>	92.1	68.9	36.6	60.0

※2020年度の実績をベースに、当投資法人の100%所有物件で再エネ電力が導入された場合

当投資法人では、今後もサステナビリティに配慮した資産運用を行ってまいります。当投資法人の ESG に関する取り組みについては、以下のウェブサイトをご参照ください。

当投資法人 ESG ウェブサイト : <https://jre-esg.com/>

以 上